



西岡自然パネル

会議報告書

平成 30 年 5 月 12 日
9 時 ～ 9 時 45 分
西岡公園

*** 議 題 ***

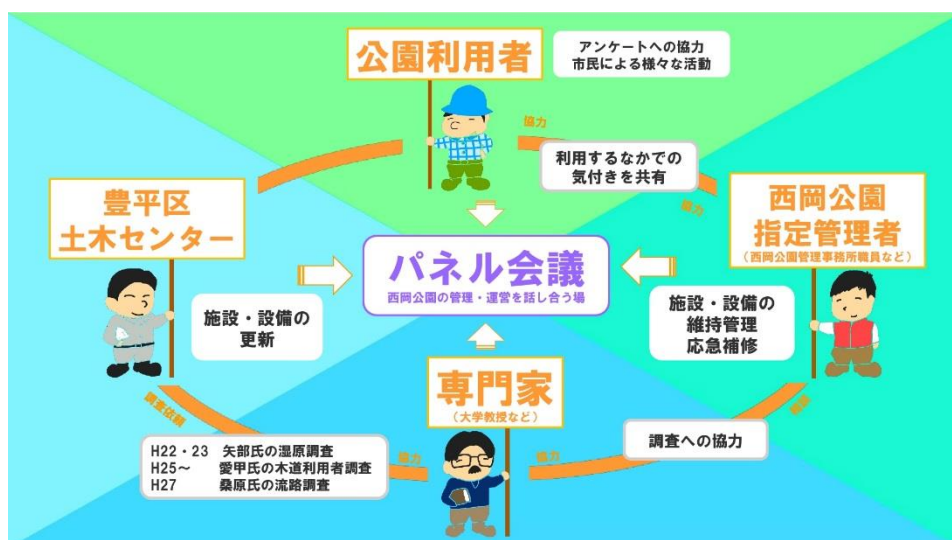
□西岡公園の平成 29 年度の活動報告と平成 30 年度について（札幌市公園緑化協会）

□西岡公園の再整備について（豊平区土木センター）

□質疑応答

パネルとは？

西岡自然パネルは、平成 12 年に発足した、西岡公園の維持管理について、行政と市民が話し合う場、行政とコミュニケーションを図る場として個人・団体に開かれた話し合いの場です。またパネルの場で解決できない大きな問題は、専門家の意見や調査結果に基づいて、ワークショップなどを実施して方針を決定するような進め方をしている。パネルとは「討論する場」を意味しており、定期的にパネル会議を開催し、様々な議題について話し合いを続けている。



* 参加者の所属団体（順不同）

近隣町内会、ガイドボランティア、西岡公園植物の会、北海道トンボ研究会、西岡の自然を語る会、日本野鳥の会札幌支部、札幌市立大学、札幌市豊平区土木部、西岡公園指定管理者（公財）札幌市公園緑化協会

計 18 名

1. 西岡公園管理事務所からの活動報告

・平成 29 年度の活動報告

1. 維持管理作業について

植生の観察や公園利用者への配慮についてを解説。

2. 公園が実施する協働事業について

植物調査、樹名板の設置、工作教室の開催、子どものあそび場の創出、ガイドウォークの開催、子どもたちによる自然調査活動、公園のお祭りの催しを解説。

・平成 30 年度の活動予定

1. 維持管理作業について

木道の修繕については、今後行われる木道の再整備を見据えて、最小限の補修のみとし、大掛かりな補修を要する区間については、利用制限を行う旨を説明。

2. 公園が実施する協働事業について

定例事業と併せて、9 月 22 日に公園のお祭りである「にしおかピクニック」を開催することを説明。

3. パネルについて

今年度、10 月以降に再度開催予定であることを説明。

2. 豊平区土木センターから公園の再整備について

・平成 29 年度開催の公園再整備に係る

全 3 回のワークショップについて振り返り

振り返り項目

- ・自然環境の保全が前提
- ・老朽化した施設の改修・非バリアフリーの解消
- ・公園管理上の支障の解消

※参考：別添ニュースレター最終号

・倉庫移設を含めた再整備に係る工期について

平成 30 年度 倉庫建築開始

次年度実施分改修工事実施設計

平成 31 年度 エントランス広場整備



各所改修工事

平成 34 年度 次年度以降の実施設計

3. 西岡自然パネル後の現地観察会について

平成 29 年度開催のワークショップの内容を実際に現地を観察し、意見交換する運びとした。

開催時間：西岡自然パネル終了後 10 時～12 時

司会進行：北海道造園設計株式会社

質 疑 応 答

① 既存の施設を撤去し、再配置する計画なのか？

→公園の機能や役割を変えずに長寿命化を図る計画で、園路を部分的にバリアフリー化させていきます。

② 平成 34 年度までの施設改修に木道も含まれているのか？

→公園全体の施設改修であり、木道も含まれています。

③ エントランスの整備は平成 31 年から始まるものなのか？

→国からの交付金で事業を進めるため、予算措置によっては予定より遅れることがあります。

④ 平成 27 年度に土嚢を設置した場所も含めて、東側木道の撤去後の調査が継続して必要になってくるがどのように考えているのか？

→現時点でどの程度の調査が出来るのかは断言できないが、満遍なく水が行き渡ることがベターだと思うので、復元できるようにワークショップでも意見をいただきながら基本計画を考えていきたい。

⑤ バリアフリーの道はどこまで延長することを想定しているのか？

→築堤や展望テラスまで行ける事を想定しているが、ワークショップ等で意見や知恵をいただきながら考えていきたい。

⑥ 木道の大改修はしないのか？

→一度に全て改修するのは難しい。今後の進め方は基本計画の中でお話させていただくことになります。